

令和4年度 学校評価書(学校運営協議会用) (計画段階・実施段階)

福岡県立太宰府高等学校

自己評価					学校運営協議会評価	
学校運営計画(4月)					評価(総合)	評価(総合)
学校運営方針	生徒が学校生活の中で夢や目標を持ち、その実現に向けて粘り強く努力できるよう寄り添いながら支援していく。その際、心理的安全性の高い教育環境作りに注力し、生徒の多様な個性の尊重及び自己指導能力の育成に重点を置くとともに、家庭や地域及び関係機関等との更なる連携を図ることとする。				A	A
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標				
<p>1 成果</p> <p>(1)教員のICT活用技術とその使用頻度の向上を目指すために、「ICT推進ワーキングチーム」を立ち上げ、授業改善や観点別評価授業改善が大きく前進した。</p> <p>(2)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くの学校行事を見直し、体育祭は中止になったが、各学校行事の教育的効果の確認及び見直しを行い、成功を収めた。また、業務改善を行い、学校の活性化が行われた。</p> <p>(3)特色化選抜が導入された初年度の生徒が卒業した年度であり、部活動の加入率が高まると共に学校活性化につながった。また、3年生の進路実績も向上した。</p> <p>2 課題</p> <p>(1)ICT活用やAL型授業の推進を図り、授業改善・評価の見直しを行い、学力向上及び進路保障につなげる。</p> <p>(2)多くの生徒が多様な分野において積極的かつ意欲的に取り組めるような部活動を再検討する。</p> <p>(3)生徒自身の自己肯定感を高め、多様な他者を理解させるために、行事やホームルーム活動を有効活用する必要がある。</p> <p>(4)進路実現に向け、各種検定試験に挑戦させ合格に向けた支援体制を構築する。</p> <p>(5)学校の教育活動や魅力が中学校に伝わるよう情報発信を続ける必要がある。</p>	<p>1 生徒の学習意欲を喚起し、基礎学力を向上させる</p> <p>2 基本的な生活習慣を確立させ、自己指導力の形成につなげる</p> <p>3 多面的な評価の推進により、自己肯定感を高める</p> <p>4 自己肯定感を高め、多様な他者理解に努める生徒を育成する</p>	<p>ア ICT活用やAL型授業推進を継続し、授業改善・評価の見直し等について検討・研修を行う。</p> <p>イ 学年・分掌・教科が連携して、生徒自らが健康面に留意しながら登校し、自発的に学習に取り組むよう指導する。</p> <p>ウ 観点別評価を一層推進するとともに、キャリアパスポートの作成により自らの活動実績を振り返らせる。</p> <p>エ ホームルーム活動や行事をはじめとする各種特別活動において集団形成能力を高めさせる。</p>				
	<p>5 社会性を身に付けさせるため、ルールやマナーに対する理解を深めさせる</p> <p>6 学校行事を主体的に運営させることで、自己有用感を醸成する</p> <p>7 成年年齢引き下げに伴い、主権者教育を充実させる</p>	<p>ア ルールやマナーを自分のこととして捉えさせ、校則の見直しや各種講習会の運営に取り組ませる。</p> <p>イ 職員による指導・助言の下、生徒実行委員会の更なる活性化を図る。</p> <p>ウ 公民科の授業や特別活動を活用し、特に3年次における主権者教育の徹底を図る。</p>				
	<p>8 進路行事を中心に進路に対する意識向上を図り、進路決定をはじめとするキャリアパスポートの構築を促す</p> <p>9 資格取得を奨励し、合格に向けた支援体制を構築する</p>	<p>ア 上級学校との連携により、各種ガイダンスや体験授業を充実させる。</p> <p>イ 関連教科と連携し、英語検定や漢字検定、数学検定等の各種資格に挑戦させ、生徒のキャリアアップを図る。</p>				
	<p>10 積極的な広報活動を展開し、入試倍率を向上させる</p> <p>11 地域に根ざし、地域から信頼される学校を目指す</p>	<p>ア 学校体験入学の内容充実、広報紙・SNSによる積極的な情報発信を行う。</p> <p>イ 総合的な探究の時間や行事等において地域貢献活動やボランティア活動を推進し、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。</p>				
	<p>12 芸術科(美術・書道)教育の内容を充実させる</p>	<p>ア 芸術科職員の高い専門性を生かし、教育内容の充実と生徒の進路目標実現を目指す。</p>				
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題	項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
教育支援部(教務課)	生徒の実態を踏まえた指導を行い、基礎学力の向上を図る。	新たな学びプロジェクトに沿って、ALの実施・ICTの活用を推進する。	A	<ul style="list-style-type: none"> 次年度は特に、特別な配慮を必要とする生徒たちの評価表の在り方について検討し、運用する。 観点別評価について職員全体の周知徹底を図る。 今年度の遅刻者の増加を受け、次年度は生徒の登校状況に応じた時刻の提案が必要である。 教務手帳や、出席簿等の諸帳簿について、見直しと改訂を図る。 	A	A
		観点別評価により、授業中の生徒の努力を評価する機会を設ける。	A			
		毎時間、授業の始め、または最後に振り返りの時間を設ける。	A			
		学年と連携し、遅刻欠席の状況を正確に把握するとともに早期対応を図る。	A			
		毎週の会議で遅刻欠席の状況を共有し、学年・家庭と連携して早期に対応する。	A			
教育支援部(企画・広報課)	職員一丸となった積極的な広報活動を通して、本校の教育活動の内容と魅力をPRし、入試倍率の向上を目指す。	中学校へ早期に行事の案内をし、中学校訪問等を活用することで、行事への中学生の参加者増を目指す。	A	<ul style="list-style-type: none"> 体験入学の申込をgoogleformによる個人申込に変更したことで、申込数が増加した。今後はさらに追跡調査を実施していく。 Instagram等のSNSを充実させ、広報活動の効果的なツールとして活用していく。 研修課と連携してICT活用に関する校内研修を学期毎に実施し、授業等でICTを活用する教員が増えた。 生徒がICTを活用して校内の活性化や校外にPRをする場を次年度も増やしていきたい。 	A	A
		教務課や進路支援部と連携し、特色化入試で入学した生徒の成長・実績等をPRする。	B			
		効果的な広報活動を展開するために、学校HPやSNSを週に1回は更新し、リアルタイムに情報を発信する。	A			
		情報関係の管理システムを効果的に運用させると共に、生徒指導課や学年と連携し、情報モラルの向上に努める。	B			
		全教職員が活用しやすい環境整備を行うと共に、教員へのサポート体制を充実させ、学校のICT教育力を向上させる。	A			
生徒育成部(生徒指導部)	全職員が行う生活指導及び積極的な生徒指導体制により基本的な生活習慣の確立と自己指導能力の育成を図る。	ルール遵守の動機付けを図り、自ら課題を解決しようとする態度を育成する。	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒ひとり一人が校則に対する理解を深める工夫を行う。 新入生の友人関係でのトラブルが散見されたため、共感的な人間関係作りのための援助が必要。(ソーシャルスキルトレーニング、SNSのマナーなど) 次年度以降の生徒の登校時間に合わせた自転車、バス通学のマナーや安全指導が必要。 校則見直し委員会で生徒指導の三機能に留意し、弾力的に見直しを継続する。 生徒の自主性・主体性を伸ばし自己肯定感を高めることを目的とした学校行事(飛梅祭・体育祭)の運営を行う。 特色化選抜入試で入学した生徒の、部活動への積極的な取組を促す。 	A	A
		教育相談期間を設定し、家庭・学年・分掌・教科との連携を図り、いじめ防止に努める。	A			
		毎日の登下校指導を徹底し、事故の未然防止に努める。	A			
		生徒が中心となり諸行事を企画し、生徒主導で円滑に運営できる指導や助言を行う。	A			
		学校活性化及び特色化入試志望者増加を目指した部活動の活性化を図る。	A			
部活動の環境を整え、高い意識レベルでの活動を促す。また部活動中の事故防止に努める。	A					

生徒育成部 (保健課)	生徒の自己管理能力の向上を図る。特に感染症予防を重点的に行う。	毎日の手洗い・手指消毒・マスク着用・咳エチケットを励行する。	A	A	A	・感染症予防を念頭に置き、諸行事における対策をとってきたい。 ・健康診断の準備に早くから取り組むとともに、保健委員の仕事を明確化する。 ・カウンセリングにおいては専門的な助言をもとに、医療機関へ繋げることができた。次年度も関係各所との連携を密にしたい。	A	感染症予防策で大変な一年であったと思うが、常に生徒の安心安全を第一に考え指導していただいた。
		定期健康診断を確実に実施し、事後措置を適切に行う。	A					
		スクールカウンセラーや訪問相談員、専門医、担任、保護者と連携し、適切な指導助言を行う。	A					
		生徒保健委員会を活性化させ、保健だよりや掲示物を充実させる。	A					
進路支援部 (キャリア教育課)	早期に高い進路目標を設定し、それに向かってチャレンジし努力する生徒の育成を図る。	生徒整備委員会を活性化させる。美化週間を実施することで、学校美化に対する意識の向上をはかる。	B	A	A	・今年度同様飛梅祭での発表や保健会への出品、保健だよりの作成などを通して保健委員の育成をしていきたい。 ・諸検査を予定通り実施できるように関係各位と調整をし、早くから準備をする。 ・学校美化に対する生徒と教員の意識を向上させていく。	A	委員からの意見は特になかった。
		学校業判師による教室環境調査や食衛生検査を実施する。	A					
		各種ガイダンスを充実させ、勤労観・職業観の育成をし、必要な進路選択ができるようにする。	A					
		進路講演会や上級学校講師による模擬授業等を実施し、生徒に有益な情報を提供し進路意識を高揚させる。 本校生徒の進路実現に合った模試・検定を精選し、学年・関係教科と連携し、生徒への支援体制を構築する。	A					
総務部 (研修課)	生徒理解、および教員のスキルアップを目指し、各種研修を計画する。	生徒の学習到達度と多様な希望進路に対応した講座を実施できるように、環境整備を行う。	A	A	A	・次年度も生徒の進路実現に必要な模試や検定を積極的に勧めていく。 ・講座の在り方について(朝講座の実施は新3年生で最後)学年や教科、部活動顧問とも連携し、充実した内容にしていく必要がある。 ・学校推薦型選抜や総合型選抜に対応した小論文(志望動機等も含む)指導について、3年間の計画を立て実行したい。 ・就職指導については、今年度の指導の形を踏襲しつつ、今後も学年や関係教科等との協力体制を構築する。	A	ICTやタブレットの職員研修が、日頃の授業に生かされていると感じた。
		学校推薦型選抜入試に対応するため、小論文(志望理由書等含む)指導の3年計画を立て実行する。	B					
		公務員希望者を対象に、外部講師による公務員講座や模試、自衛隊希望者を対象に、説明会や面接指導対策等を実施する。	A					
		本校生徒の実態に即した内容でテーマを精選し、職員研修を計画・実施する。	A					
総務部 (庶務課)	個々の授業の改善につながる取組をすすめる。	県教育センター専門研修等の校外研修受講を推進し、案内や申し込みを早めに行う。	A	A	A	・ICTやタブレットの職員研修を3回実施し、研修内容を新たな学びプロジェクトや基本研修における研究授業での実践につなげることができた。 ・今後は配慮が必要な生徒に対する支援を、生徒育成部と連携しながら研修を進めていきたい。 ・授業アンケートをchromebookで実施し、集約をGoogleスプレッドシート、保存を共有ドライブとした。 ・ICT支援員の支援により、業務を円滑に進めることができた。今後も継続したい。	A	職員のリフレッシュのためにも、今後もレクリエーションなどを取り入れてもらいたい。
		教育実習を円滑に実施できるよう、校内体制を整える。	B					
		各種基本研修受講者へのサポートを行う。	B					
		年2回の授業アンケートを実施し、生徒の実態把握と教員の授業改善の材料とする。	A					
学年統括部 (第1学年)	基礎学力を定着させながら、自らの進路について考えさせる。	式典および各行事の要項作成を早め、行事の円滑な遂行を図る。	A	A	A	・PTA総会・教育振興会総会を、初めてWeb決議(マイクロソフトのフォーラムズ)で行うことができた。今後はデータの回収の周知を徹底するようにしたい。 ・他の分掌と連携し、行事予定表を月の前半に作成できるよう努力する。 ・互助会のレクリエーション(ヨガ)を、数年ぶりに実施することができた。今後も継続させていきたい。	A	学年の特色を生かした取組に今後も期待する。
		在校生対象の奨学金制度の案内、申し込み等を行う。	A					
		行事予定を早めに示し、PTA・教育振興会等と綿密な連携を図る。	B					
		職員の福利厚生環境づくりや、互助会福祉事業を行う。	A					
学年統括部 (第2学年)	規律と責任を踏まえた基本的な生活習慣を定着させる。	授業において「振り返り」を行い、基礎学力を定着させる。	A	A	A	・進路実現のために、学力向上を目指し日々の授業と定期考査に精一杯取り組んでいく雰囲気を作る。 ・進路選択の支援として進路に関する様々な学年の行事を計画し、自分自身で考え決断できるように指導する。 ・世の役に立つ人になるために求められる資質や能力を身に付けていけるように支援する。 ・学年のまとまりを重んじながら、学校行事や部活動において主体的に取り組む雰囲気を作り、体験的な活動を通して個人の成長、学校の活性化を目指す。	A	学年の特色を生かした取組に今後も期待する。
		生徒の現状を的確に把握し、実態に応じた授業を展開する。	B					
		英検や数検等の資格取得に取り組ませる。	A					
		仲間とのつながりを感じながら集団の一員であることを自覚し、責任ある行動を徹底して求める。	B					
学年統括部 (第3学年)	生徒の実態に応じた授業を展開し、生徒が学習に向かう環境を整備する。	礼節を重んじ、元氣な挨拶や返事をする習慣を身に付けさせる。また、場に応じた言葉遣いができるように指導する。	B	A	A	・早期に自己の進路について真剣に考えさせ、進路実現に向けて努力する雰囲気を作る。 ・ボランティア活動や大学と連携した活動に参加することや、英検等の資格試験の受験を促す。 ・生徒に寄り添う指導を心掛け、丁寧に教え諭す指導を徹底する。 ・3年次の体育祭や文化祭に積極的に関わろうと考えている生徒が増えており、学年全体で学校行事に積極的に関わる雰囲気をつくり、学校を活性化させる。	A	卒業制作展が大盛況であった。また、校外でのイベント等の要請に大活躍する姿が多く見られた。
		部活動や委員会活動、学校行事への積極的な参加を求める。	A					
		授業において「振り返り」を行い、基礎学力を更に定着させる。	A					
		生徒の実態に応じた授業を展開し、意欲的に授業に臨むことができる環境を整備する。	A					
芸術科	芸術科(美術・書道)教育の内容を充実させ、希望に沿った高い目標の進路実現を目指す。	英検や数検等の資格取得に取り組ませる。	B	A	A	・1年次に新入生指導を丁寧にやったことが功を奏し、最後まで大きく崩れることなく3年間を終えることができた。 ・入学から卒業までの3年間を見直し、行事等においてスモールステップの成功体験を積み重ねることで自己肯定感を高めることが重要と考える。	A	卒業制作展が大盛況であった。また、校外でのイベント等の要請に大活躍する姿が多く見られた。
		あいさつ、時間厳守、清掃の指導を徹底する。	B					
		ルールやマナーの大切さを理解させ、自ら守ろうという意識を持たせる。	A					
		叱りつけるのではなく、丁寧に教え諭す指導を徹底する。	A					
芸術科	本校芸術科教育の広報活動を工夫、改善し、芸術分野への意欲を持った生徒の獲得を目指す。	生徒の現状を的確に把握し、実態に応じた授業を展開する。	A	A	A	・進路目標実現を目指し、希望分野に合わせた実技指導体制を整え、高い進路目標を設定するための進路行事を行う。 ・全国規模の公募展出品を目指して実技力を磨き、地域貢献活動に参加して発信力を磨くための指導を実践する。 ・中学生対象の行事の分析を行い、広報活動の工夫、改善、強化を行う。 ・広報媒体を作成し、芸術科教育内容の周知に努め、芸術分野や指導者を目指すなどの高い意欲を持った生徒の獲得を目指す。	A	卒業制作展が大盛況であった。また、校外でのイベント等の要請に大活躍する姿が多く見られた。
		進路支援部と連携し、生徒が必要な時期に必要な講座を開講して支援を行う。	A					
		英検をはじめとする各種検定に向けた対策講座を実施し、合格に向けた支援を行う。	A					
		意欲ある生徒募集のため、広報活動の工夫、改善、強化を行う。	A					
自己評価及び学校運営協議会評価を踏まえた今後の改善策	・入試志願倍率について、今年度は定員割れの状況は解消したが、次年度についても魅力的な教育活動や広報活動の充実によって志願倍率の増加を目標として努力したい。 ・「新たな学びプロジェクト」によって得たスキルを、今後の授業改善に役立てて、「楽習」の実現に向けて取組を深める。 ・「コミュニティ・スクール」として取り組んできた一年間の財産を生かし、次年度は組織的・計画的に継続させさらなる充実を図りたい。	学年集會やHRの時間を活用し、最高学年であるとの自覚を持たせる。	A	A	A		A	特にコミュニティ・スクールの活動について、次年度はボランティア活動の活性化が楽しみであるとの意見をいただいた。
		進路相談事業への参加やHP、広報媒体などを作成し、芸術科教育内容の周知徹底に努める。	A					
		年4回の実技講習会、中学校訪問を積極的に行い、中学生や保護者への広報活動に努める。	B					
		進路目標の実現を目指し、科独自の実技指導体制や進路行事を整理し、団結して取り組む。	A					

評価項目以外のものに関する意見

<p>・入試志願倍率について、今年度は定員割れの状況は解消したが、次年度についても魅力的な教育活動や広報活動の充実によって志願倍率の増加を目標として努力したい。 ・「新たな学びプロジェクト」によって得たスキルを、今後の授業改善に役立てて、「楽習」の実現に向けて取組を深める。 ・「コミュニティ・スクール」として取り組んできた一年間の財産を生かし、次年度は組織的・計画的に継続させさらなる充実を図りたい。</p>	<p>特にコミュニティ・スクールの活動について、次年度はボランティア活動の活性化が楽しみであるとの意見をいただいた。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------